

全国防衛協会連合会青年部会
第14回 青年研修大会『大阪大会』 兼ねて
近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会
第9回 青年研修大会『大阪大会』

高い精神性を礎に、知力、体力、技術力、
結集しよう日本の力!!

平成27年 **3月14日(土)**
14:30~19:30

会場／□大会式典・記念講演会場 / 大阪市中央公会堂
□懇親会場 / ANAクラウンプラザホテル大阪

主催／全国防衛協会連合会青年部会
近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会

主管／大阪防衛協会青年部会



大会次第

14:30～15:40 記念講演 講師：荒谷卓氏 / 演題：「世界に誇る日本の心」

講師プロフィール

明治神宮武道場至誠館 館長
元陸上自衛隊特殊作戦群 初代群長

荒谷 卓 (あらや たかし)

昭和34年、秋田県生まれ。東京理科大学卒業後、陸上自衛隊(幹部候補生学校)入隊。調査学校(小平)、第1空挺団(習志野)、陸上幕僚監部防衛部、防衛庁防衛局防衛政策課戦略研究室等の勤務の後、特殊作戦群初代群長となる。この間、ドイツ連邦軍指揮大学、米国特殊作戦学校に留学。大学生時代、松涛館流空手、極真空手等で武術を修練している折、恩師より至誠館を紹介され入門。葦津珍彦先生、島田和繁先生、田中茂穂初代館長、稲葉稔二代館長より日本の伝統精神についての薫陶を受ける。平成20年、自衛隊退職後、武道場至誠館専任師範として明治神宮に奉職。平成21年10月、第三代至誠館館長に就任。



16:00～17:00 記念式典 17:30～19:30 懇親会

- | | |
|----------------|--|
| ○開会宣言 | ○開会 |
| ○国歌斉唱 | ○開会挨拶 |
| ○殉職隊員・物故会員に黙とう | ○来賓挨拶 |
| ○主催者挨拶 | ○来賓紹介 |
| ○主管地代表挨拶 | ○参加者紹介 |
| ○来賓挨拶 | ○乾杯 … アトラクション (歌) 山口采希さん
アトラクション キャラバンの映像 |
| ○来賓紹介 | ○万歳三唱 |
| ○祝電披露 | ○閉会 |
| ○次回開催地発表 | |
| ○次回開催地代表挨拶 | |
| ○閉会宣言 | |

ご挨拶

自衛隊は昭和29年7月1日に創設されましたが、7月～10月は災害出動等が予想される為、自衛隊記念日は11月1日となっており、まさに創設時から国民のための自衛隊であったわけです。以後60年超、黙々と国民の生命・財産、日本国の領土・領海・領空、そして我が国の誇りを守ってきました。

昨今は自衛隊の役割も広がり戦後70年を迎える今年、海外派遣を随時可能にする恒久法の制定に強い関心が寄せられています。我々も新しい時代に相応しい憲法の在り方について議論を深めていかなければならないと感じています。

本年度、青年部は問題意識をもち防衛意識の高揚をはかるだけではなく、日本の国を守るのは誰なのか、自衛隊だけではなく国民一丸となって守らなければならないということを念頭において、全国の青年部会の皆様と連携を強化して、地域住民の皆様に発信していく所存でございます。

全国防衛協会連合会青年部会
会長 野々口 弘基



1945年8月15日。多くの尊い命が犠牲になった太平洋戦争の終結から、今年2015年でちょうど70年の節目を迎えます。「戦後70年」は、そうした戦争の歴史を振り返るとともに、戦後の復興の歩みをたどり、これからの日本の在り方を十分に議論していく、大切な年であると思っています。

我が国の平和と安全を維持し、その存在を全うするとともに、国民の生命を守り、我が国を取り巻く安全保障環境の変化に対応すべく集团的自衛権が閣議決定されました。今後は、解釈の変更ではなく、正しく法整備を行い早急に日本国憲法の改定が実施できるように私たちの運動を進めていかなければなりません。

これからの80年、90年、100年に日本がどのような国を目指すべきなのかしっかりと議論ができる大会にしていきたいと思います。

近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会
会長 坂口 昌弘



祝 辞

全国防衛協会連合会青年部会第14回青年研修大会「大阪大会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

皆様方におかれましては、結成以来、真摯かつ積極的に自衛隊活動への支援・協力にご尽力されており、深く敬意を表します。

さて、世界の安全保障環境は、各地で頻発する地域紛争、テロリズムやサイバー攻撃、中東諸国の混迷など、一段と厳しさを増しております。国民の安全や安心を脅かす事案が後を絶たない現代社会において、自衛隊の存在は必要不可欠なものとなっております。

また、国家の防衛はもとより、国外ではマレーシア民間航空機消息不明への国際緊急援助活動、国内では、先の東日本大震災や昨年の集中豪雨、台風による人命救助活動など、懸命かつ献身的な活動を行われる姿に、国民の信頼と期待は一段と高まっております。

近い将来、高い確率で発生するといわれている「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害をはじめ「武力攻撃」や「テロ」等の様々な危機事象への対応は自衛隊との緊密な連携が不可欠であります。今後とも自衛隊との連携強化に努めてまいりますので、皆様方には、なお一層ご尽力くださいますようお願いいたします。

結びに、全国防衛協会連合会並びに大阪防衛協会青年部会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

大阪府知事 松井 一郎



全国防衛協会連合会青年部会 第14回青年研修大会「大阪大会」が盛大に開催されますことを心からお喜び申しあげます。

皆様方におかれましては、結成以来、防衛意識の高揚や防衛基盤の育成強化をめざし様々な取り組みを展開され、自衛隊に対する御支援・御協力にご尽力いただいていることについて深く敬意を表します。

さて、大阪市においては、今後、発生が危惧される「東南海・南海地震」などの大規模災害や様々な危機事態発生時において、市民の生命・財産を守るため、防災関連機関、特に自衛隊との連携については重要と考えております。皆様方の日頃の御支援・御協力が自衛隊の活動を支える一助となっているものと思料しております。

全国防衛協会連合会青年部会並びに大阪防衛協会青年部会のますますのご発展と会員の方々のご健勝とご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いメッセージといたします。

大 阪 市 長



全国防衛協会連合会青年部会第14回青年研修大会、兼ねて近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会第9回青年研修大会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。全国の防衛協会青年部の皆様には、国防の重要性に対する深いご理解のもと、平素から自衛隊に対するご支援と力強いご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年の我が国を取り巻く安全保障環境は一層緊張感を増し、更には、自然災害の多発により、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害等への備えの重要性が改めて認識される等、国民の平和と安全を脅かす事態への対応とその準備は我々にとっていささかの油断も許されない極めて重要な任務であります。

このような認識の下、中部方面隊は、何時如何なる任務が与えられようとも、任務に即応してこれを完遂し得るよう、「責務を完遂し得る強靱な部隊を育成し、各種事態等への対応に万全を期す」との信念をもって、より一層緊張感をもって日々の隊務に邁進する所存です。

本日ご参会の皆様には、引き続きご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、全国防衛協会連合会青年部会並びに近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会の今後更なる充実・ご発展と会員皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

陸上自衛隊 中部方面総監 陸 将 山下 裕 貴



このたび、全国防衛協会連合青年部会の第14回青年研修大会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、平素から海上自衛隊に対する格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、複雑かつ深刻化しており、海上自衛隊の役割は国家安全保障戦略の下、新たな広がりを見せています。その中にあって、海上自衛隊は我が国の平和を守る、すなわち抑止力を高めるため、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処行動等、世界の平和と安定のための国際的貢献も実施しております。また、呉地方隊におきましては、艦艇部隊に対する後方支援や災害派遣等多様な任務にあたっているところであります。

海上自衛隊の活動にとって国民の理解と協力が不可欠の基盤であり、自衛隊と国民の橋渡しを担われている防衛協会の役割は、ますます重要となっていると考えます。会員各位におかれましては、国防の重要性と海上自衛隊の存在意義及びその活動を国民にご理解いただけるよう一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

最後に、防衛協会青年部会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

海上自衛隊 呉地方総監 海 将 伊藤 俊 幸



ご挨拶



全国防衛協会連合会青年部会第14回青年研修大会並びに近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会第9回青年研修大会『大阪大会』に近畿地区はもとより全国各地より精力的に防衛協会の活動を展開する青年部会の諸君が参集していただき、盛大に開催できますことを厚く御礼申し上げます。

大阪防衛協会は昭和38年1月に本州の日本海側に広範囲に甚大な被害を与えた三八豪雪に際し献身的に任務を遂行する自衛隊に対し松下幸之助氏(初代会長)をはじめとする大阪財界人が自衛隊に対する国民の理解を深め、その使命達成に協力し激励しようと呼びかけて結成され、今年度は50周年を迎えております。

このように記念すべき節目の年にこれからの防衛協会活動を担う若者が全国よりここ大阪に参集し、お互いに意見を交わし切磋琢磨する姿はとても心強く感じます。

大阪防衛協会50周年事業(当会青年部主催)「OSAKA防衛防災フェスティバル2015」における研修も皆様にとって実り多いものとなるものと願っております。

最後に、全国防衛協会連合会青年部会並びに近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会の益々の発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

大阪防衛協会
会長 井上 礼之



本日、全国防衛協会連合会青年部会第14回青年研修大会兼ねて近畿ブロック防衛協会青年部会連絡協議会第9回青年研修大会『大阪大会』を、大阪防衛協会青年部会の主管にて開催させて頂いたところ、非常に多くの御来賓と会員の皆様にご参加を賜りました事、大阪防衛協会青年部会会員一同、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今回の開催地大阪では、自衛隊の基地や防衛施設等への見学・研修という設営ではなく、自衛隊の敷地から外に出て民間商業施設である大阪南港に位置するアジア太平洋トレードセンター(ATC)に自衛隊の装備を展示して、多くの国民に防衛について考える機会を提供するOSAKA防衛防災フェスティバルをご覧いただく設営にさせていただきます。大阪防衛協会青年部会会員一丸となり全国からお越しいただく会員の皆様のために、精一杯の準備をさせていただくとともに、会員の皆様が平素の研修から得られた数々の学びを、一人でも多くの国民へと拡げて行くためのきっかけとなる大会をめざして大会を組み立ててまいりました。

是非とも今大会を通じて、都道府県を超えた会員同士がより深く懇親して頂くことはもとより、今後の防衛思想の普及の一助となる事を心より祈念申し上げます。

大阪防衛協会青年部会
会長 高橋 竜啓

会場案内MAP



懇親会場までの案内図

中央公会堂から ANA クラウンプラザホテル大阪までは徒歩約 10 分です。



フェスティバル会場行き ＜北バス乗り場＞

3月15日(日)AM9:00出発

ANAクラウンプラザホテル大阪
大阪市北区堂島浜1-3-1



フェスティバル会場行き＜南バス乗り場＞

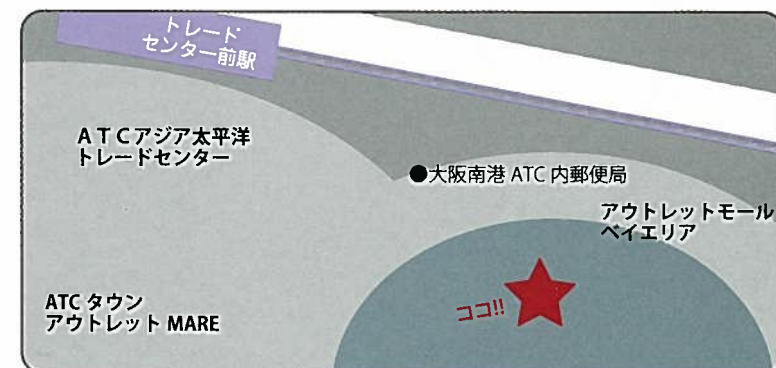
3月15日(日)AM9:00出発

ホテル栄前大阪空港行きバス乗り場(なんば地下7番出口すぐ)
大阪市浪速区難波中1-6-8



フェスティバル関係者受付 「フェスタ・インフォメーション」

ATC アジア太平洋トレードセンター
大阪市住之江区南港北 2-1-10
※クロック有ります



本日はお忙しい中、『OSAKA防衛・防災フェスティバル2015』にご来場いただき誠にありがとうございます。主催者を代表致しまして心より厚く御礼申し上げます。

本フェスティバルは、2008年に第1回目を開催し、2011年には東日本大震災の発災により中止といたしましたが、2013年に第2回目、そして今回が第3回目の開催となります。開催に際し、防衛省自衛隊をはじめとして警察・消防・国土交通省・大阪府・大阪市・ATCの皆様方に多大なるご協力を賜りましたこと深く御礼申し上げます。

本フェスティバルを主催しております私たち大阪防衛協会青年部会は、本年度で設立10年を迎える大阪に住み暮らし働く青年で組織されている団体です。190名の会員が私たちの国の防衛の最前端で活躍している自衛隊の広報活動に協力したり、国民の防衛意識の高揚活動に取り組んでおります。

今日の日本は、長く続いた平和を脅かすような周辺諸国からの領海侵犯などの諸問題、見えない敵テロとの戦いも想定され、また大阪については東南海トラフ地震の脅威も日々高まっているという、かつてない緊張に包まれているのはご周知のとおりだと思います。

そこで、私たちの愛する人々と国土の平和と安全を守ってくれている人々と間近にふれあい、その装備品にふれていただくことで日本の力を実感して頂き、また、防衛防災は他人事では無いという事を実感していただくために本フェスティバルを開催させていただきました。

本日のご来場をきっかけに、ご家族ご友人と今一度日本の防衛防災についてお話しさせていただききっかけになれば幸いです。

本日のご来場、誠にありがとうございました。



大阪防衛協会青年部会
会長 高橋 竜啓

大阪防衛協会青年部会は、松下幸之助氏が関西財界人を中心として昭和39年に設立した大阪防衛協会を母体として、平成17年に設立いたしました。

入場に関するお願い.....

フェスティバルを安全に楽しくお過ごしいただく為、下記規定をよく読んでご来場ください。

ご理解とご協力をお願い致します。

☆入場時には、手荷物検査を実施致します。(再入場の際も同様です。)持ち主が開いたカバンや持ち物を警備員が確認致します。
また、護衛艦・掃海艇に乗船の際には別途金属探知機による手荷物検査を実施致します。

持ち込み禁止物について

刃物類及び火薬等の危険物 拡声器・メガホン・その他音を発する物

プラカード・のぼり・横断幕・ゼッケン・ビラ等これらに属する物

その他、人や展示物に危害を及ぼす恐れのある物。長尺物(バット・ゴルフクラブ等)・生卵ほか・カラスプレー・ペンキ等
※上記を含み、当方で会場内に不必要と判断する物は全てロッカーにお預けいただくか、入場をお断りする場合がございます。

場内禁止行為について

以下の行為をされた方は、ご退場いただく場合があります。

1. 持ち込み禁止物品を持ち込む行為
2. 集会・演説・シュプレヒコール等の行為
3. 大きな声で来場者に不快感を与えるような行為
4. 展示物を破損、汚損した場合
5. 寄付の募集、署名活動、又は調査(アンケート等)を行なった場合
6. 立ち入り禁止区域に立ち入った場合
その他、会場の秩序及び平穩を乱すと係員が判断した行為

服装について

自衛官・警察官・消防士などの制服と見間違えるような服装は、入場をお断り致します。また、他の来場者に不快感を与えるような服装も入場をお断りする場合がございます。スカート・ハイヒール・サンダルでの船舶見学は危険防止のためご遠慮していただくことがあります。

大阪防衛協会50周年記念事業

OSAKA 防衛★防災 フェスティバル2015

日時 平成27年3月15日(日)
10:00~16:00

場所 ATC アジア太平洋トレードセンター
大阪市住之江区南港北2丁目

来て、見て、ふれて、
実感しよう日本の力



会場展示一覧

■防災エリア

■陸上自衛隊

- ・先着1000名様に炊き出し豚汁試食
- ・野外入浴セットでの足湯体験

- ・5t水タンク
- ・野外入浴セット
- ・炊事車
- ・野外洗濯セット
- ・浄水セット

自衛隊大阪地方協力本部

- ・活動パネル展示
- ・自衛官の制服試着&写真撮影
- ・まもるくん



■大阪府・市危機管理室

- ・活動パネル展示
- ・防災対策に関する冊子の配布

■大阪府警察

- ・レスキュー車

■国土交通省

- ・災害対策用機械の展示(照明車、排水ポンプ車)
- ・国土交通省による災害対応活動の紹介(パネル展示)

■体験乗車エリア

■陸上自衛隊

- ・高機動車の体験乗車

※体験乗車券が必要ですので、乗車前に体験乗車券配布場所にお越し下さい。
※小学生以下の子供さんは保護者同伴をお願いします。



高機動車の体験乗車

■消防エリア

■大阪市消防局

- ・消防車/救急車/はしご車を交代で1台展示
- ・ミニ消防車
- ・プチ消火訓練
- ・セイバーミライ
- ・消防艇「まいしま」

消防艇「まいしま」
※展示のみ乗船できません

体験乗車エリア

消防エリア

■護衛艦エリア

■海上自衛隊

護衛艦DE-230「じんつう」



護衛艦DE-230「じんつう」
乗船できます!
11:00~14:00

■防衛エリア

■陸上自衛隊

- 10式戦車
- 93式近距離地对空誘導弾
- 中距離地对空誘導弾
- 94式水際地雷敷設置装置
- 81式自走架柱橋
- 155mm榴弾砲
- NBC偵察車
- 96式装輪装甲車
- 87式偵察警戒車
- 戦闘ヘリコプター「アバッチ」
- 01式軽対戦車誘導弾
- 87式対戦車誘導弾
- 81mm迫撃砲
- 120mm迫撃砲
- 軽装甲機動車
- 82式指揮通信
- 野外手術セット

■航空自衛隊

- 地对空誘導弾「ベトリオット」PAC-3

■海上自衛隊

- 掃海艇 MSC-683 「つしま」
- 掃海艇 MSC-684 「なおしま」

乗船できます!
※乗船は「なおしま」のみ可能です
10:00~15:30

防衛エリア



本部
(迷子センター)
(落とし物センター)
(救護所)

グッズ販売
コーナー

近畿防衛
コーナー

メインステージ

防災エリア

消防車

国土
交通省

炊出し試食

洗濯
セット

5t水
タンク

足湯体験

浄水
セット

自衛隊
大阪地方
協力本部

大阪府市
危機管理室

大阪府
警察

体験乗車券
配布場所

出演者紹介

中部方面音楽隊

昭和27年12月に兵庫県伊丹市に「第3管区総監部音楽隊」として発足、昭和35年1月に現在の名称となり、自衛隊の儀式及び隊員の士気高揚のための演奏を行うとともに、公共的な行事に積極的に参加し幅広く年間約100回に及ぶ演奏活動を行っております。



1等陸士 鶴 真衣(つぐみ まい)

「人の心を救える歌手になりたいと、自衛隊の音楽隊を選びました。」と語る音楽大学院卒の陸自初のボーカリスト。「自分の歌で、笑顔になってもらえたり、幸せな気持ちになってもらえるよう、一日一日を大切に、日々前進していきたいです。」



信太菊水太鼓

信太菊水太鼓は、平成6年に大阪府和泉市の信太山駐屯地に発足した、第37普通科連隊の隊員で構成される太鼓隊で自衛隊音楽まつりを始めとする自衛隊の各種行事や、部外イベント等に積極的に参加し、演奏活動を行っています。



塚本幼稚園

先人から伝承された日本人としての礼節を尊び、それに裏打ちされた愛国心と誇りを育て、すべての子供が持っているたくましい生命力と包容力を指導者が明るい表情と態度と言葉で引き伸ばしていく教育方針を掲げ、皇室、自衛隊、警察など様々な式典に招かれて、歌や演奏など披露しています。



山口采希(やまぐち あやき)

「未来を生きる子供達の為に、昔々から大切に守られてきた宝物を、しっかりと引き継いで行きたい。」書き変えられたもの、失われそうに忘れ去られそうなもの。そんなひとつひとつを音楽に乗せ活動しているシンガーソングライター。教育勅語や五箇条のご誓文、自衛隊の皆様への感謝を軽快なサウンドで奏でる。祖父の影響で覚えた軍歌や唱歌もレパートリーに入れ、神社での奉納演奏や講演会など、幅広く活動中。

みんな聴きにきてね!



メインステージ タイムスケジュール

午前の部

- 11:00~11:30 中部方面音楽隊/鶴 真衣
- 11:30~11:35 訓練展示(ロープによる降下)
- 11:35~11:45 信太菊水太鼓
- 12:00~12:10 塚本幼稚園
- 12:10~12:35 山口采希

午後の部

- 13:30~14:00 中部方面音楽隊/鶴 真衣
- 14:00~14:05 訓練展示(ロープによる降下)
- 14:05~14:15 信太菊水太鼓
- 14:30~14:40 塚本幼稚園
- 14:40~15:10 山口采希